

《別添一4》 堰下流右岸深掘狀況調査

堰下流右岸深掘状況調査

堰下流右岸深掘状況調査

堰下流右岸深掘状況調査は、堰下流右岸で確認されている局所洗掘箇所を対象に、出水中の深掘れ進行状況（河床変動）を把握する目的で実施したものです。

調査地点は、平成18年度に設置した既設固定杭による観測地点4地点（既設鋼管杭固定杭式）と六脚ブロックに固定した1地点（ワイヤーロープ固定式）、鋼管杭を建込み、その管にリングウエイトを連結して河床に設置する観測地点7地点（鋼管杭建込式）の合計12地点で調査しました。

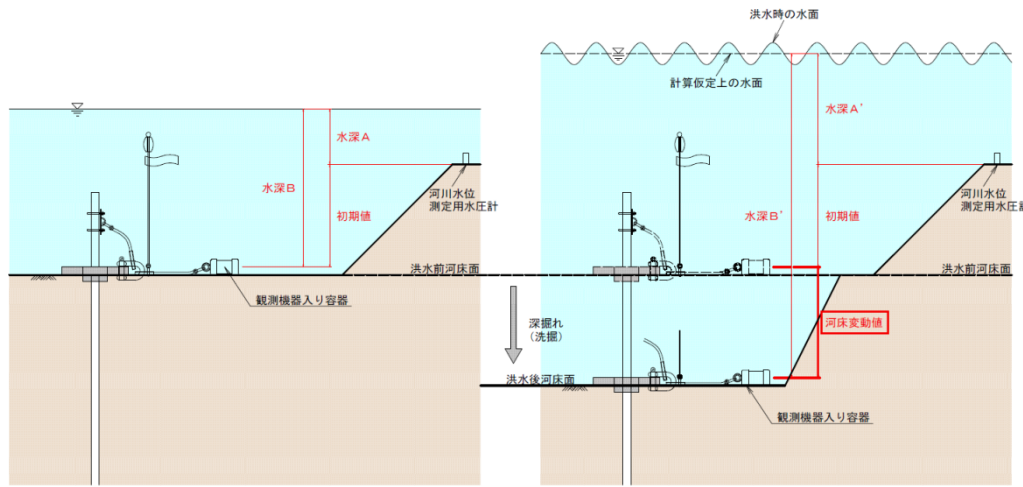
【水圧変化による河床変動量の観測方法】

出水期早期の段階で次頁の調査地点の河床に水圧計を沈設し、洪水による河床変動とともに水圧計の標高が低下する傾向を捉えました。なお、沈設する水圧計の標高は、別途設置する河川水位測定用の水圧計にて測定する洪水時の河川水位標高と河床に沈設する水圧計が示す差をもとに計測しました。

【算出式】

$$\text{河床変動量} = \text{水深} B' - \text{水深} A' - \text{初期値}$$

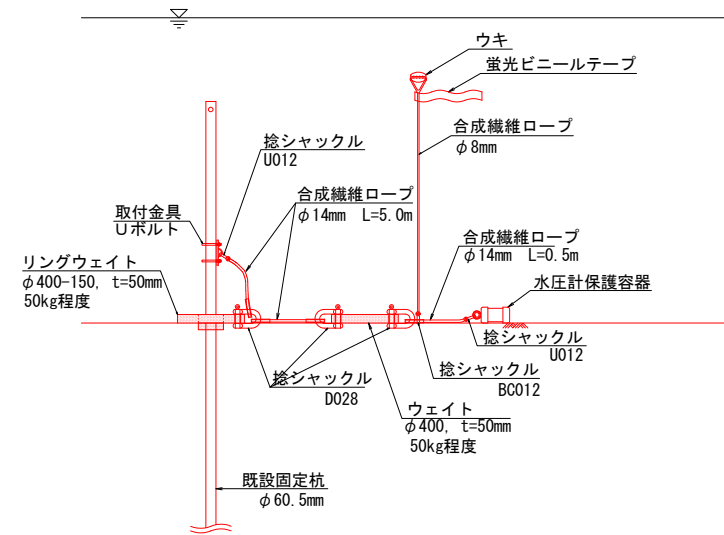
※水深データは、各水圧計のデータに大気圧を補正して求める。



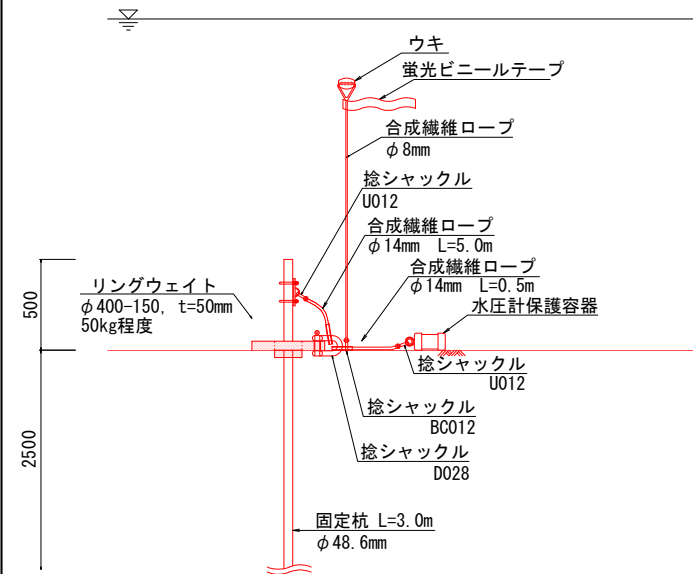
【平常時】

【洪水時】

既設鋼管杭固定杭式



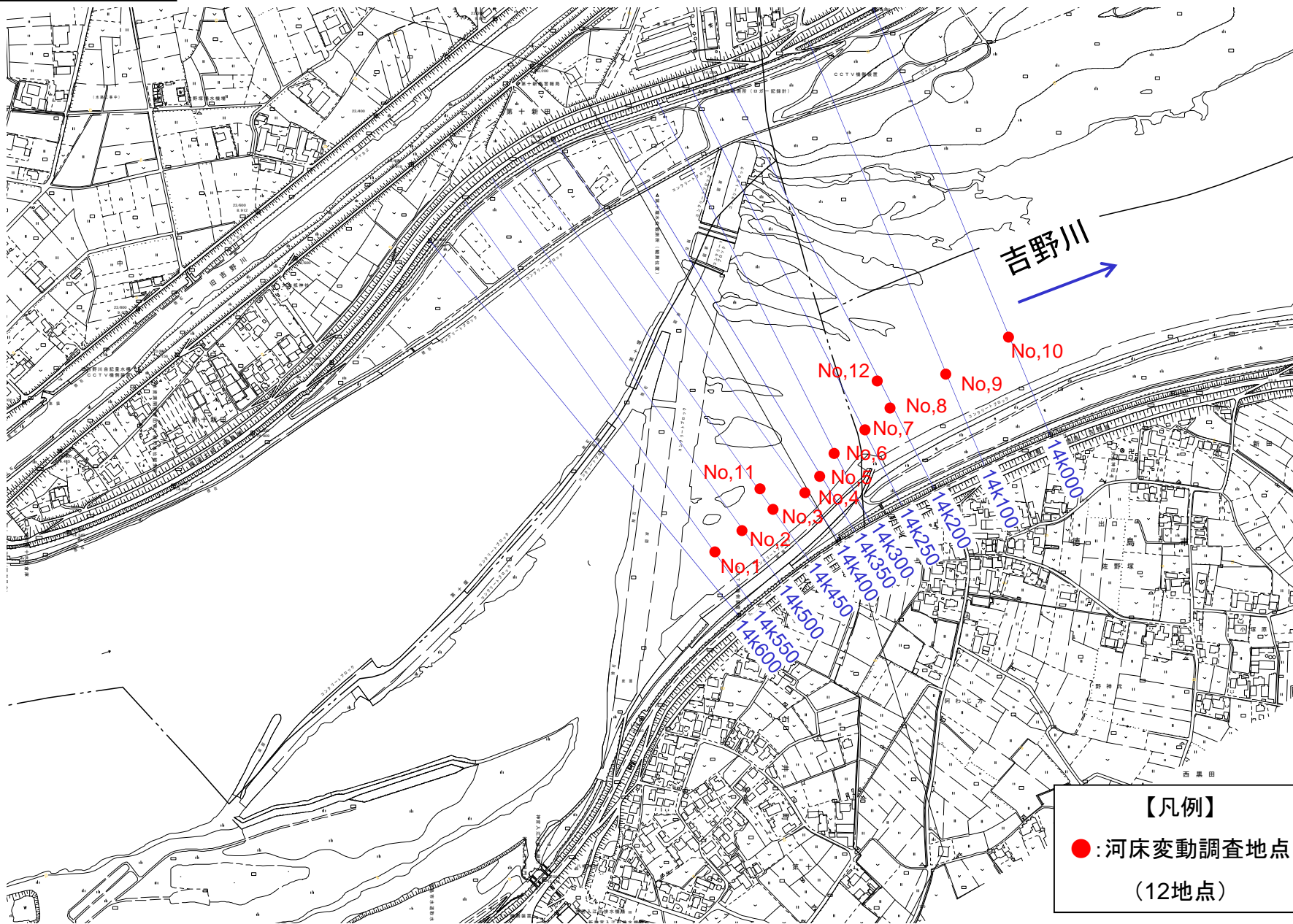
鋼管杭建込式



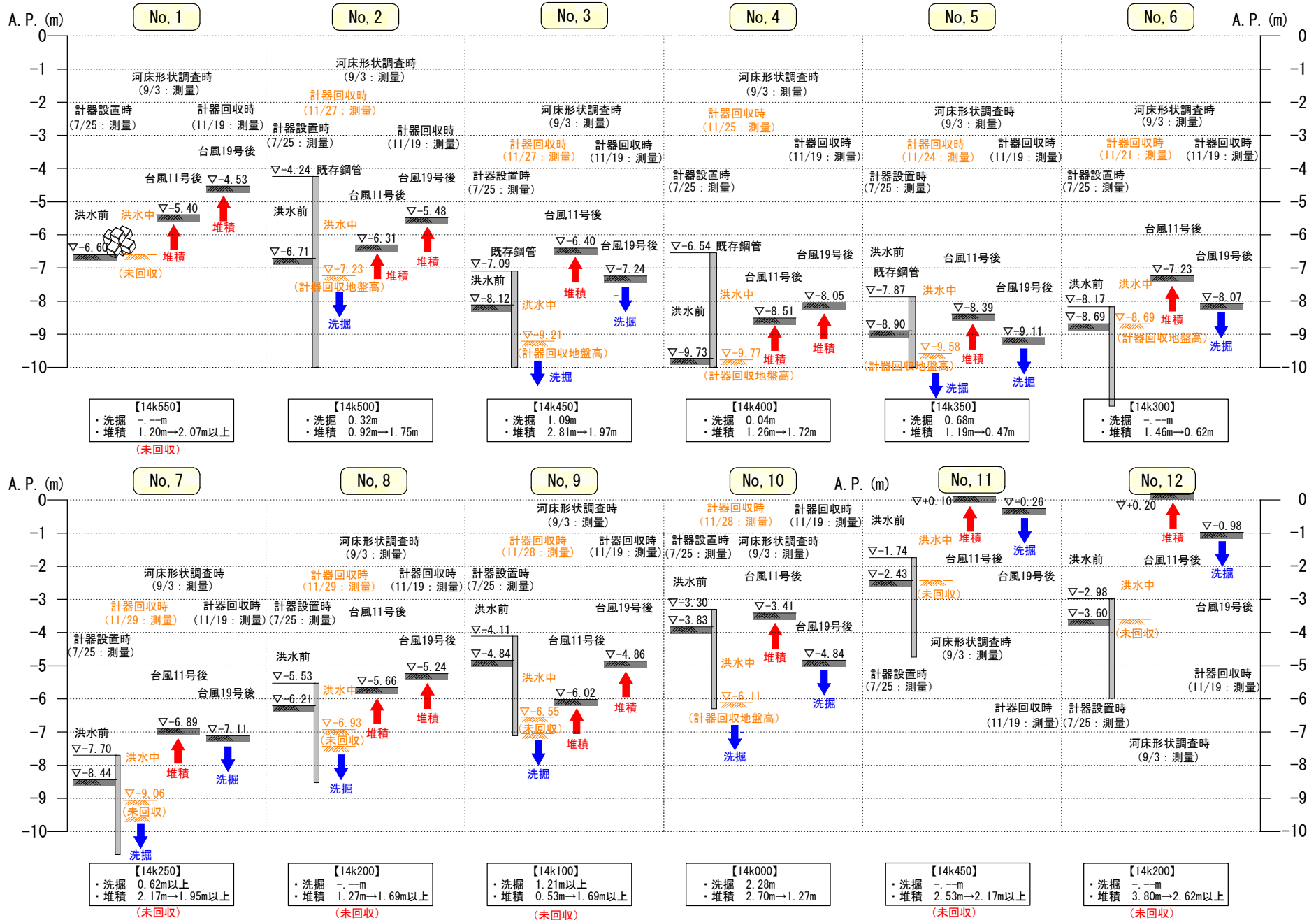
水圧計設置要領図

堰下流右岸深掘状況調査

水圧計設置位置図

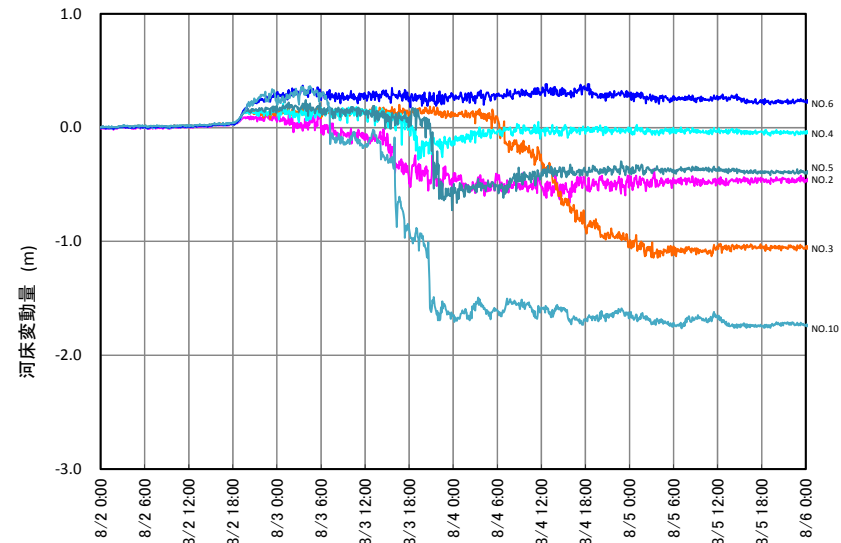
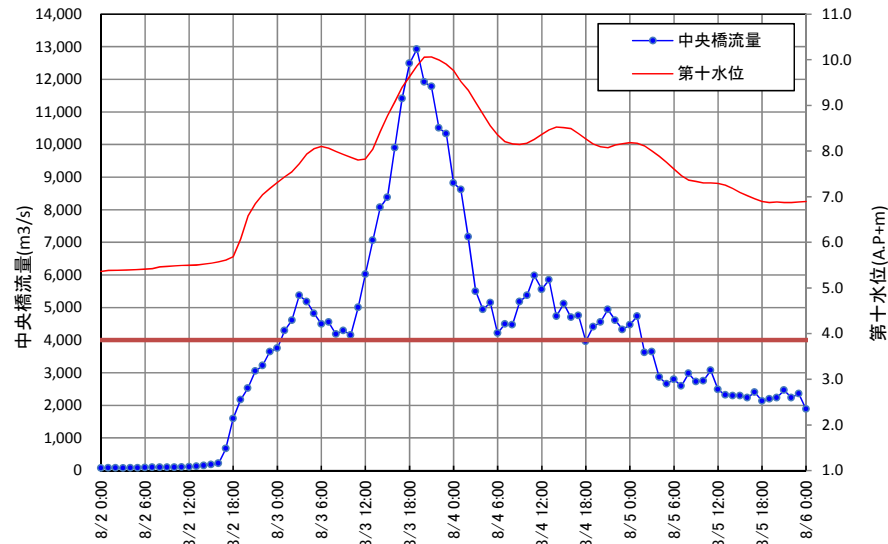


平成26年度堰下流右岸深掘状況調査

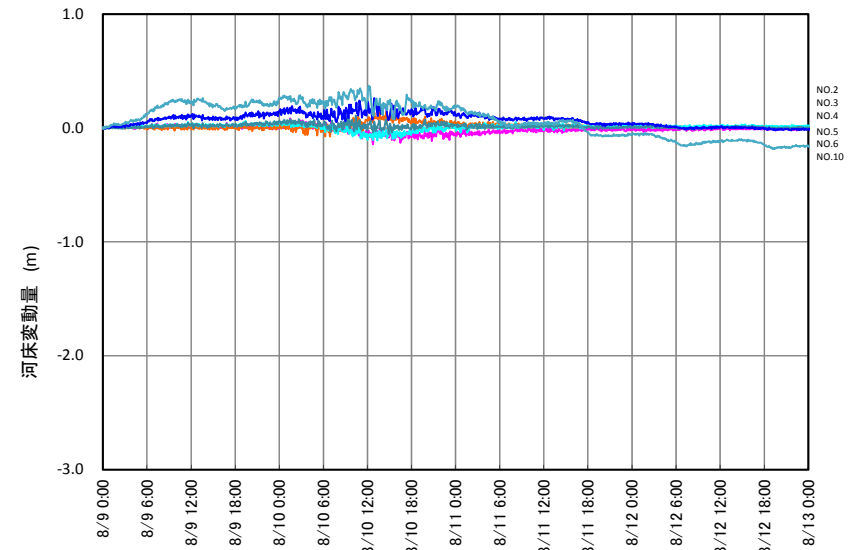
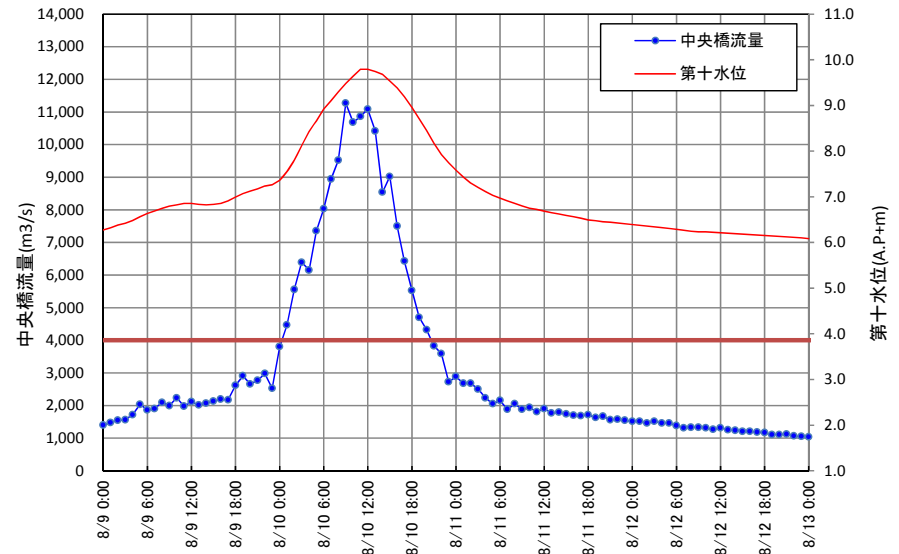


平成26年度堰下流右岸深掘状況調査

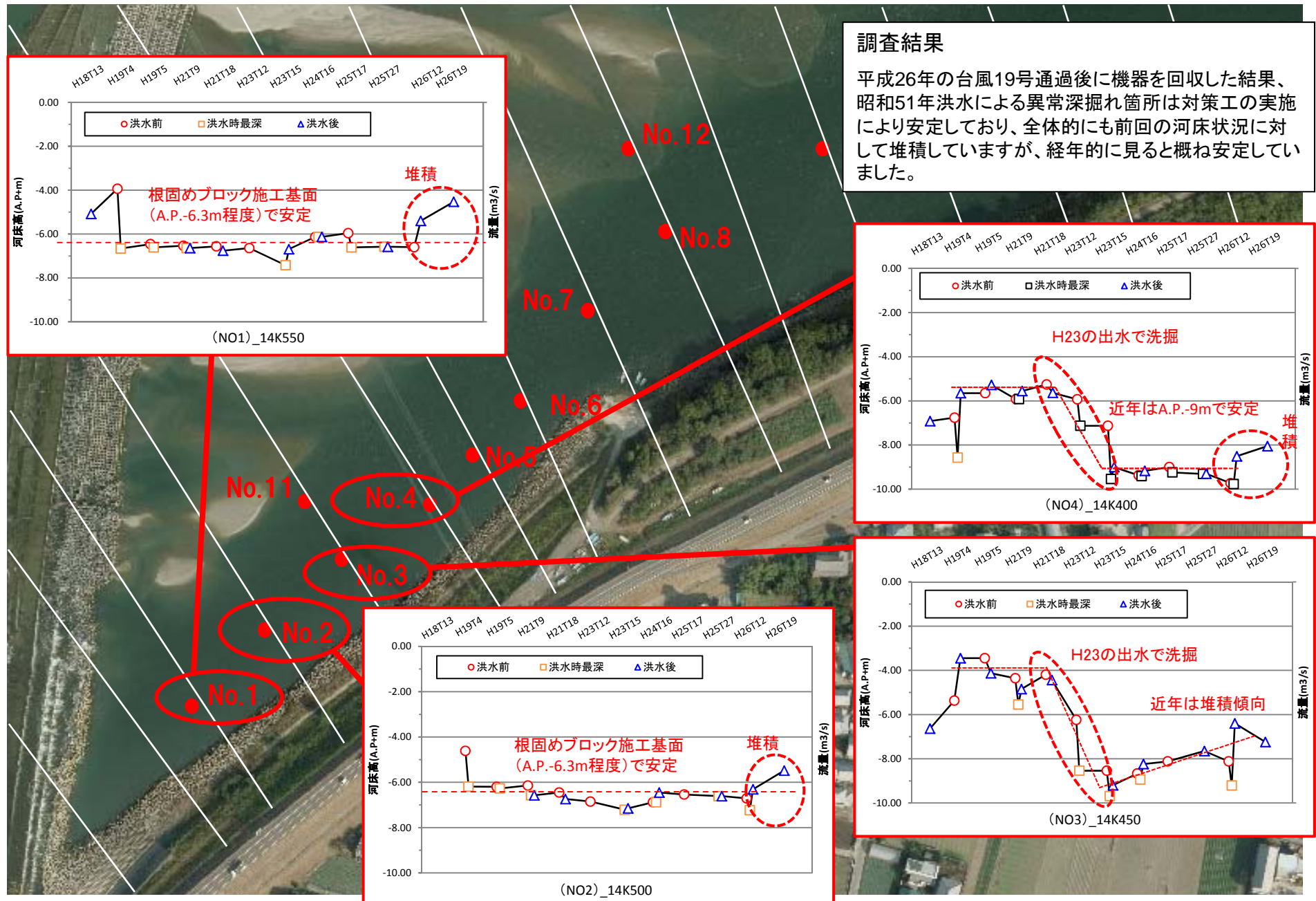
台風12号による観測結果



台風11号による観測結果

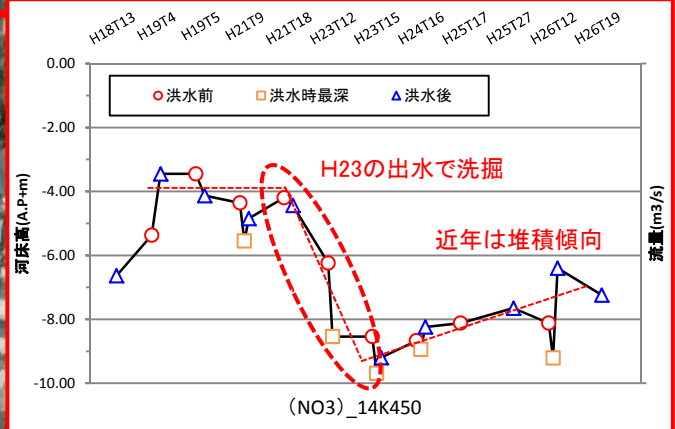
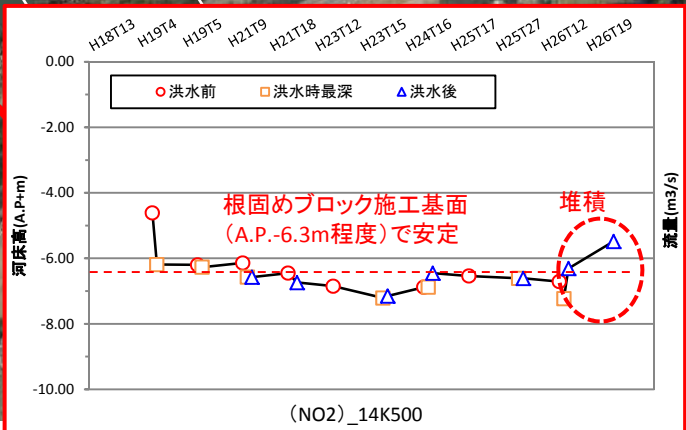
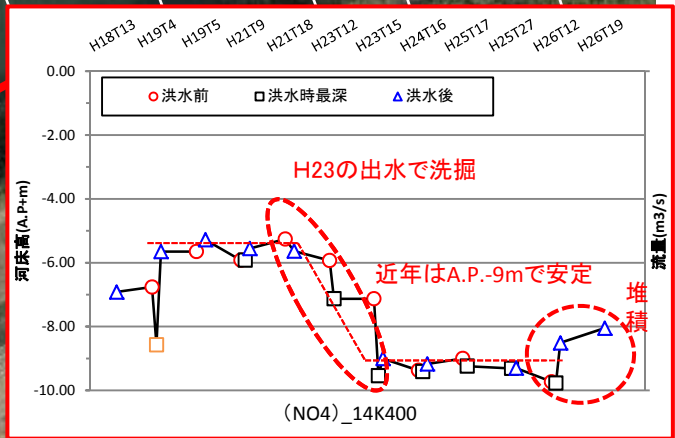
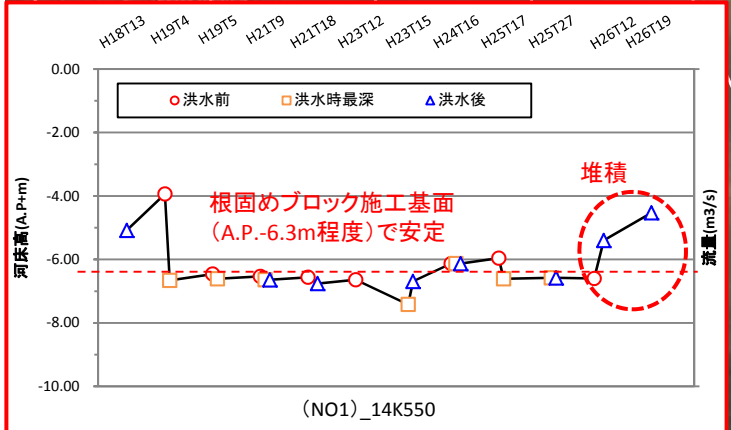


堰下流右岸深掘部経年変化①

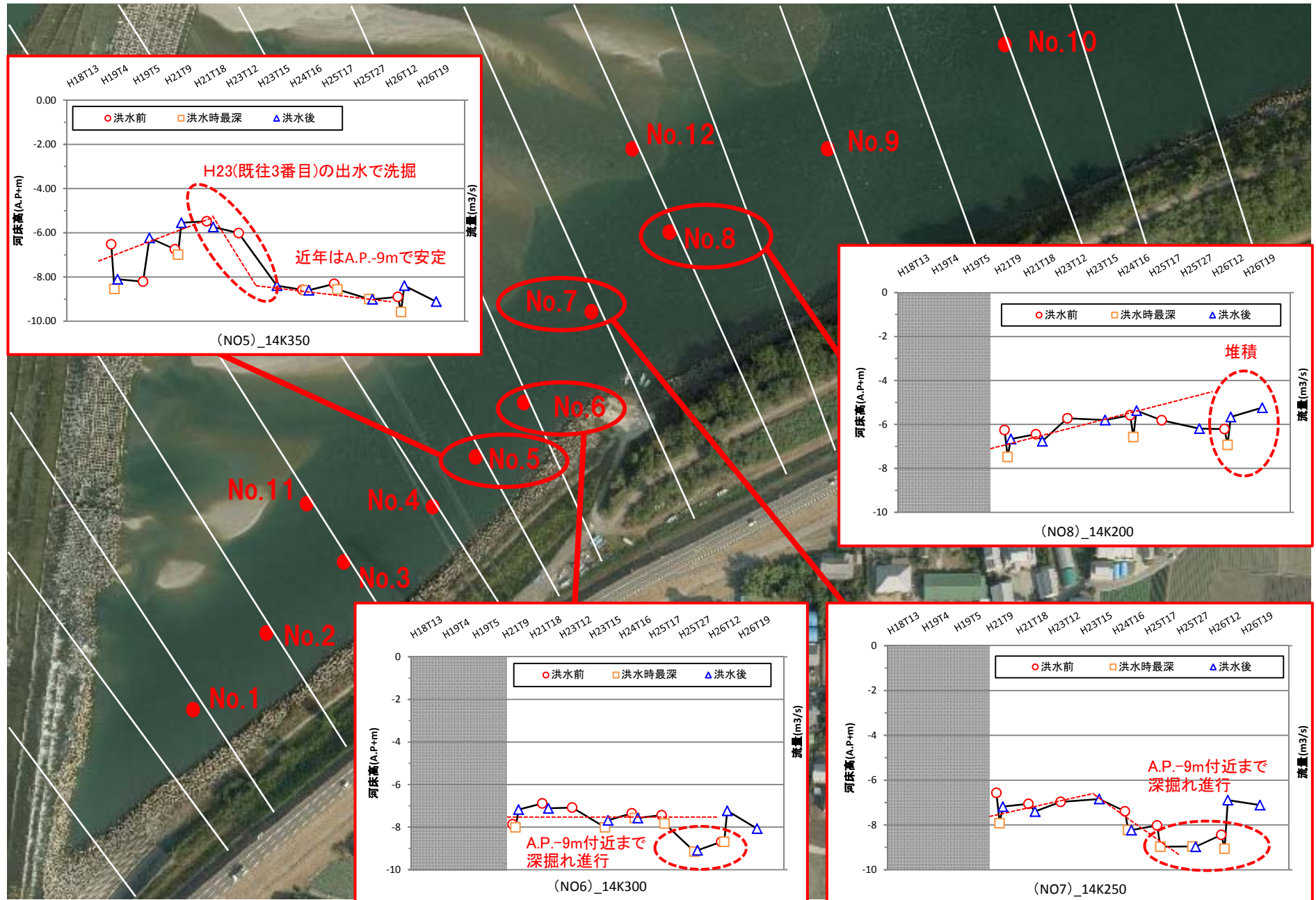


調査結果

平成26年の台風19号通過後に機器を回収した結果、昭和51年洪水による異常深掘れ箇所は対策工の実施により安定しており、全体的にも前回の河床状況に対して堆積していますが、経年的に見ると概ね安定していました。



堰下流右岸深掘部経年変化②



堰下流右岸深掘部経年変化③

